

ESDom



E:Education
for
S:Sustainable
D:Development
O:omagari
m:minami

H.27.5.27 No.2

大曲南中学校 3年生 環境学習報告

海外の環境について学ぶ 国際交流員の方の出前授業

先生とオーヤン先生に海外の環境保護への取り組みについてお話を聞きました。オーヤン先生はシンガポール、アイビー先生はドイツの様子をお話ししてくださいました。英語も交えながらのプレゼンでしたが、日本とは異なることも多く、みんな真剣に聞きました。生徒の感想を紹介します。



シンガポールでは

4つの水資源をフル活用しています。

- ・マレーシアから水を買う。
- ・雨水をためて飲用水として使う。
- ・海水を濾過し真水にする。
- ・下水をリサイクルして New Water にする。



ドイツは各家庭に4つのゴミ箱を設置することが義務づけられています。

オーヤン先生のお話でシンガポールの水は雨水をためたり、下水をろ過したりしていると知りました。～中略～

アイビー先生のお話ではドイツがゴミの分別に力を入れていることが分かりました。またクリーンエネルギーに力を入れており、割合で示すと、1位は風力発電（ドイツには山がないため）、2位は太陽光発電、3位はバイオエネルギーだそうです。日本では地熱発電ができますがドイツではないそうです。アイスランドでは地熱で雪を溶かすことがあるとも聞きました。世界のエネルギー事情を知るのも楽しそうだと思います。

僕たちはめったに外国に行く機会がないので、外国の環境問題やエコ対策についていろいろ見ることができて非常によい授業だったと思います。シンガポールの飲料水を手に入れる方法、ドイツのペットボトルを入れるとお金が返ってくる機械など、興味深いエコ対策もありためになりました。またシンガポールの new water を飲んだりクイズもあったりわかりやすかったです。アイビー先生が言っていたように、レジ袋の使い方についてはみんな考え直す必要があると思いました。エコバッグ等をフル活用していこうと思います。日本も他国の良いエコ活動を見習い進めていけば良いと思います。

今日は2人の先生から海外の環境保護の話をお話を聞きました。その中で私が特に気になったことは、海外の水事情についてです。シンガポールでは色々な過程を経てやっと水が飲めるようになるということにとっても驚きました。私たちが普段当たり前のように使っている水でも海外に行けばとても貴重なものなのだと思います。私は水を出しっぱなしにして無駄遣いしてしまっています。まずは身近なところから節水したいと思いました。ドイツではゴミの分別に特に力を入れていることが分かりました。私もゴミの分別はしているつもりですが、まだまだ分別しきれていないものもあります。ドイツを見習って分別していきたいです。